

特集

関東四県公園緑地連絡協議会

関東四県公園緑地連絡協議会報告

本年度は開催担当が群馬県造園建設業協会であり、協議会の視察内容を検討する中で群馬県の悲願でありました富岡製糸場がユネスコ世界遺産登録となりましたので、栃木、茨城、埼玉の近県から参加される皆様に、視察研修していただきました。当日は、雨の中ではありませんでしたが、案内ボランティアの方の説明を聞いて身近な富岡製糸場の歴史の深さ、そして、当時の日本人が、欧米に対抗すべき努力を積み重ねてきたことに改めて、感動と感謝の念に駆られました。当日は平日でありながら、多くの観光客の数にも驚き、人々の関心の深さも知りました。

関東四県協議会は、富岡のホテルアミューズ富岡にて開催され、担当県であります群馬県造園建設業協会、須永敏明会長の挨拶に始まり、本県からの提案の公園のリニューアルの発注状況及び受注状況について、川島良則副会長よりの説明の後、各県より報告を受けました。埼玉県では公園植栽地改修、遊具の改修も含めての受注報告、栃木県は2022年度国体開催に向けてスポーツ公園の改修が、県より依頼を受けて調査進行されていると、現況報告がありました。そして、次の提案を山本直副会長より防草対策（除草剤、防草シート使用等）について提案され、各県とも管理費の削減、除草作業回数の減少により雑草の繁茂率が高く苦慮している、近年防草シート施工もあるが経年劣化でその後は飛散も見られ、栃木県では、（産、学、官）共同研究で、溶隔スラグ施工方法を検討中との事、除草剤使用については、各県、実施はしていないが今後研究調査が必要ではないか等の意見交換がなされ、有意義で充実した協議会となりました。

懇談会では、本県の須永会長より、昨年各県からの情報により本県も街路樹管理経費が、通常の維持管理経費になった事に感謝の挨拶に始まり、和やかな中、次世代を担う各県の青年部より活動報告がなされ、群馬県からは、熊倉幹夫青年部部長より、ホリデーイン前橋、視察研修等の報告がありました。次年度開催県は茨城県と確認し、平成

26年度、関東四県公園緑地連絡協議会、群馬県開催は無事終了できました。開催準備、当日の裏方等、総務委員会の皆様の多大なご尽力に感謝申し上げます報告とさせていただきます。
(櫻造園(株) 櫻井 幹男)

関東四県公園緑地協議会 青年部

10月22日(水)富岡市にて「関東四県公園緑地連絡協議会」（以下協議会）が開催されました。前回の協議会より、各県の青年部の交流会を取り入れる意向となり、また今回は担当県でもあるため、群造協・青年部にも参加を呼び掛け、多くの青年部メンバーと共に出席しました。

当日は朝からの雨模様で、肌寒く感じる天候でしたが、世界遺産登録の「富岡製糸場」を視察後、市内のホテルにて、事前に提示した各議題について、協議会の開催というスケジュールでした。

各県青年部との主な情報交換の場としては、懇親会時にテーブルを分けて行い、各県の代表者が活動報告として発表をしました。群馬県としては、協会内での世代交代により、理事・監事と青年部の兼務者が多数いること、継続事業の紹介、昨年の視察研修の内容について報告しました。短時間ではありませんでしたが、有意義な交流ができ、次回の茨城県での再会を楽しみに協議会を終えることができました。

以下、各県の青年部の概要となります。

(青年部長 熊倉造園土木(株)・熊倉 幹夫)

	群馬県	埼玉県	栃木県	茨城県
活動年数	24年	22年	12年	未来部会として3年
現在の会員数	29名	47名	27名	31名
対象年齢	45歳以下	50歳以下	45歳以下	50歳以下
年会費の有無	¥12,000/年	無	¥10,000/年	無
主な活動状況	ホリデーイン前橋 前橋展 視察・研修会等	視察・研修会 講習会	とちぎものづくり フェスティバルへの参加 献血運動 各種研修・講習会	視察・研修会等

関東四県公園緑地協議会青年部活動状況一覧表

